



第39期修了し実践を決意する

## 経営指針を創る会特集



講義から学ぶ



ディカッションで気づく



深く考える

### 経営指針を創る会特集 「創る会」で経営姿勢が確立できた

#### 経営指針を創る会の 関連・サイクル表

#### 第40期 経営指針を創る会 「成文化コース」のご案内



夜学で語り合う



さらに深く問いかけ合う



経営の本当の目的が見えてくる



励まし合う仲間が出来る



**DoYu Now**

来年4月1日に「改正労働契約法」が  
実質発効します。そのポイントは「有期  
契約が5年を超えた社員が申込をすれ  
ば、無期労働契約に転換できる」(18条)  
ということ。例えば1年契約を繰り返  
返して5年以上雇用されてきたパート  
社員が希望すれば、それ以降は無期契  
約に変更しなければなりません。◆これ  
はリーマンショックによる大量の「雇止め」  
問題を受けて雇用の安定を図るために  
設けられたもので、これを理由に逆に5  
年に達する社員の雇止めなどが起これ  
と趣旨に反する(小宮山厚労相当時)  
と政府は説明しています。一方で無期契  
約化することで、人件費の増大が起これ  
ります。◆このような中、トヨタ、ホンダ  
など自動車メーカーが契約終了から再  
雇用まで6カ月以上あけると、それ以前  
の契約期間はリセットされると、「抜  
け道」を利用し無期雇用化を回避する  
と報道されています。(11月6日時点)そ  
もそも法律にこのような「抜け道」があ  
ること自体問題であり、いたずらな混乱  
を招きかねません。また滋賀同友会の  
調査では、「知らない」「対応を決めてい  
ない」企業が過半数に上っています。多く  
の有期労働者が困らないよう、また中小  
企業での混乱を起こさないよう学びと  
対応を急ぐことが大切になっています。

## 第40期 経営指針を創る会「成文化コース」のご案内

### 【申し込み時の注意事項】

**参加資格** ●同友会会員で組織経営をめざしている方(個人でも3年以内に雇用意思のある方)、経営者より後継指名を受けている方(経営者に確認します)で、以下の①～⑥をご了解いただいた上で参加のお申込をお願いいたします。(詳細は事務局までお問い合わせ下さい)

- ① 全日程への参加が必須です。遅刻・早退・欠席は認めません。
- ② メール及びe.doyuでの連絡、返信ができる方。
- ③ 各講約1週間前のメ切内日に、各課題をメールにて送信いただける方。
- ④ 過去の決算書等を持参し、必要な部分を公開できる方(守秘義務を徹底します)。
- ⑤ 同友会の支部及び委員会活動、全国行事に積極的に参加しようとする方。
- ⑥ 事前学習テキスト(書籍)を事務局で別途お求めの上、必ず読んでから参加できる方。



講座名	日 程	内 容・会 場
オリエンテーション	2018年1月26日(金) 18:00~20:45	講座スケジュール・テキスト・心構え等の確認 会 場:草津市民交流プラザ
第1講 ※全員合宿	2018年2月23日(金) 10:00 2018年2月24日(土) 12:00	『労使見解』を学ぶ、経営指針の体系・経営理念の意味 社員との関係(労使見解)『経営理念検討シート』討論 会 場:琵琶湖マリオットホテル
第2講	2018年3月17日(土) 10:00~17:30	『経営理念』を深める・「何のために経営するのか?」 会 場:琵琶湖マリオットホテル
第3講	2018年4月21日(土) 10:00~17:30	外部・内部環境分析、自社分析から10年ビジョンづくり 会 場:琵琶湖マリオットホテル
第4講	2018年5月19日(土) 10:00~17:30	SWOT分析、中期経営方針立案、係数の把握と理解 会 場:琵琶湖マリオットホテル
第5講	2018年6月23日(土) 10:00~17:30	『経営指針書』をまとめる。経営姿勢の再確認。 会 場:琵琶湖マリオットホテル
第6講	2018年7月21日(土)(予定) 10:00~19:30	『経営指針書模擬発表』最終討論・修了式・懇親会 会 場:未定

《日程・内容に関しては変更する場合があります》

**参加費** ●15万円(税別 資料・食事・宿泊費込み。テキスト(書籍)代は別途) **キャンセル期限** ●2018年1月26日まで  
**定 員** ●12名(参加資格と注意事項のご了解をお願いします) (27日以降は参加費全額が発生します)

### 第40期 経営指針を創る会「成文化コース」参加申込書 事務局FAX 077-561-5334

(以下の情報は、参加者名簿に記載します)

※定員(12名)になり次第締め切らせていただきますのでお申し込みはお早めをお願いします。

申込み要綱・注意事項をお読みいただき、下記の  に  をお願いします。

- ①創る会全日程に参加します。  ②メール及びe.doyuでの出欠登録を必ず行います。  
 ③課題のメ切日時まで、提出課題を送信します  ④支部及び委員会、全国行事に積極的に参加します

上記4点を確認し、第40期創る会に参加申込みいたします。

2017年 月 日

会社名	連絡用E-Mail (必ずご記入ください)		
参加者 役 職	参加者名		
事業内容	社員数	名	



# 「創る会」で経営姿勢が確立できた

## 経営の心構えを自問 自答できる貴重な機会



有限会社 伊藤嘉商店  
伊藤 嘉明 氏  
(第39期創る会修了)

会社をよくするためには、経営指針に基づく経営をすればいいと以前から何回も聞いていたが、どういふことか意味がわかりませんでした。同友会へ入会してみなさんのお話を聞き、自分と同じ悩みを抱えていながらも真剣に経営と向き合っておられる姿を見て、今一歩踏み出せていない自分に物足りなさを感じるようにになりました。

そこで思い切って第39期経営指針を創る会に参加させていただきました。そこでは普段考えられない心構え(経営者の姿勢)を半年に亘って自問自答できる貴重な時間をいただきました。大変感謝しています。少しずつ

何をすべきかわかってきたような気がします。

また、創る会の分科会では他人の会社のことには一生懸命意見を言うべきだ、自分のことのように考えていただいたOBの先輩方には大変お世話になりました。同友会のすばらしい理念があるからこそ、受講中のやりとりの中にも一体感があるのだと感じました。

今回気づきがあったこと、作成した経営指針書を、必ず自身の経営にいかしていきたいと思えます。

## 経営する覚悟が できました



株式会社 湖南オートセンター  
赤井 健史 氏  
(第38期創る会修了)

技術職で25年間、一従業員として働いてきましたが、あることをきっかけに会社経営をする立

場になりました。どちらかというと仕方なく会社経営をすることとなった私には、高い志もなくもろろん経営理念など全くありませんでした。

同友会へは、会社経営を始めて4ヶ月後の2015年3月に入会いたしました。入会後に「経営指針を創る会」というものがあると聞き、経営理念を一緒に考えてもらえる会なら受講しようと思申し込みました。しかし、受講が始まってすぐに私は経営を舐めているということに気づかされました。受講中、当社は何のために存在するのか、どんなお役立ちがあるのか、そもそも自分は何のために経営をするのかを徹底的に考えさせられます。教えてはもらえませんが自分で考えるのです。そして自分の中で答えが見えてきた時、初めて経営する覚悟、従業員やその家族を守っていく覚悟ができました。創る会を受講して、私は自分自身を見つめ直すいい機会をいただきましたし、こ

## 学ぶこと・実践し続ける ことを決意



株式会社 サン機工  
田中 真 氏  
(第38期創る会修了)

れからの会社経営に対してのビジョンを描けるようになりまし。やっと経営者としてのスタートラインに立てたような気がしています。これからは創る会での学びを活かした経営をしていきます。

私が経営指針を創る会に参加した時期は、創業者が亡くなって、なんとなく社内の求心力が落ちてきていると感じ始めたころでした。いろんな会社のホームページをみて、「耳触りのいい、かっこいい」理念ができたなら、社員も喜んでくれるだろうなあと考えて参加しました。今から思うと大変甘い心構えでした。そのことはオリエンテーションを経

ての合宿研修で思い知らされることになりました。「なぜ経営するのか」「経営者とは」「社員とは」等次々に飛んでくる質問に、普段突き詰めて考えていなかった私は、答えに窮しました。もともと一般社員として入社し、勤続約13年で経営陣の一角に加わっていた私には、経営者としての自覚や覚悟が足りなかったのです。その後OB団の力添えもあり6講まで徐々に自覚が芽生えていきましたが、残念ながら最終講の模擬経営指針発表は惨憺たるもので、修正を加えて指針書づくりは継続中です。

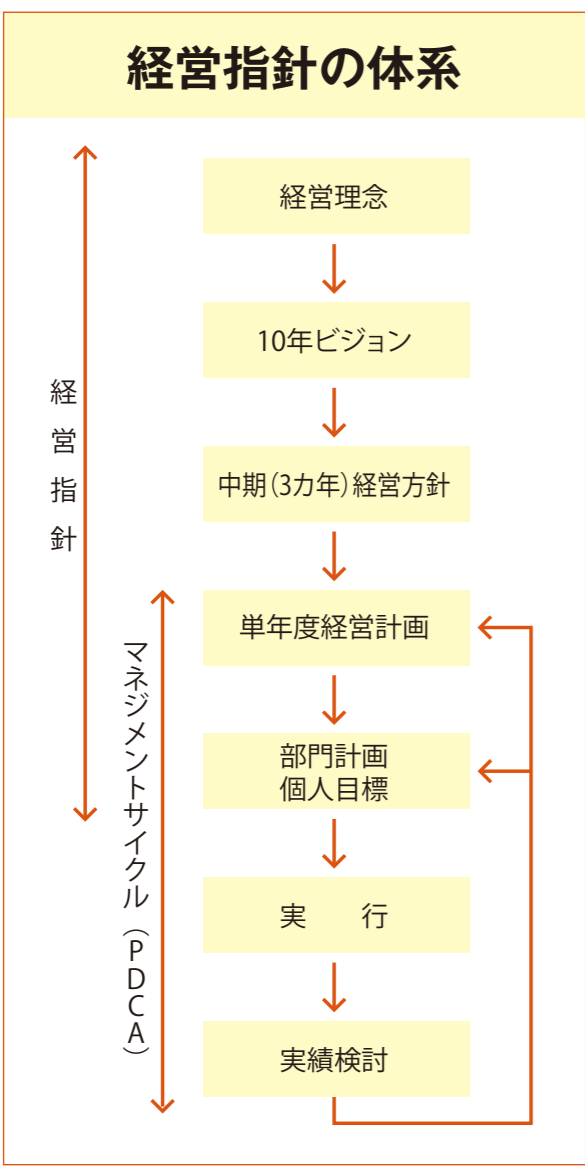
卒業後は第39期のOB団に参加し、支部等の例会にも参加して学んでいます。究極は「社長」にならないと気付けられないことが多いと言われますが、その時のためにも学びを継続していく決意です。休日を返上してまで他人の会社のことには真剣に向き合う究極の「おせっかい集団」同友会には、学びの場がたくさんあります。

# 経営指針とは？

経営者が「何のために経営するのか?」と言う、自社の存在理由を「経営理念」として表明することは、会社を単なる人の集まりから、生命力を持った有機体にするための「魂」のようなものと言えるかも知れません。

ビジョン)を書きあらわし、自社の内部環境・外部環境などを分析し、適切な方針を立てる必要があります。また、方針を立てただけで、実際には日常業務に忙殺されて、同じところをぐるぐる回っているだけでは会社は一向に良くなりません。

度経営計画」の4つを一体として作成し、社員と共に実践することを推奨しています。この4つをまとめたものを「経営指針書」と呼んでいます。経営者をはじめ、全社員が常に「経営指針書」を意識して、それに基づき、業務、行動、思考を日々積み重ねることが労使が共に学び育ちあう「良い会社」になつていくための必須の条件だと考えています。



40期開催月	経営指針を創る会の関連・サイクル表		
	成文化コース 【会員対象】	オプションコース (経営基礎講座) 【受講生・同友会会員対象】	実践コース (実践課題解決講座) 【経営指針を創る会 OB・OG対象】
10月	第39期第6講【終了】		
11月		実践実務	第1講《指針発表と戦略づくり》
12月			第2講《単年度計画ブラッシュアップ》
1月	第40期スタート オリエンテーション		第3講《行動計画と評価・検証》
2月	第1講《経営理念》	第1講《経営理念講座》	
3月	第2講《経営理念②》	第2講《自社分析講座》	
4月	第3講《中期ビジョン》	第3講《財務基礎講座》	
5月	第4講《経営方針》	第4講《雇用労働環境》	
6月	第5講 指針書・3ヶ年計画・単年度計画	第5講《経営理念の社会的影響》	
7月	第6講 指針書発表	※必要に応じて実施	
8月		実践実務	
9月			第1講【スタート】